



3月から7月初めまでの行事をお知らせします。総会も無事終わり、今年度の行事がスタートします。行事予定を参考にしてください。昨年と同じ場所もありますが、季節を変えることによりみられる動植物も変わります。楽しみましょう。参加をお待ちしています。



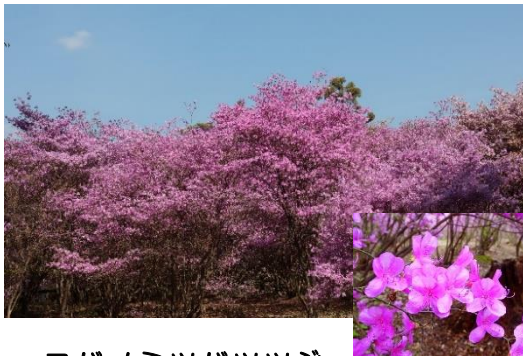
## 3月～7月行事の見どころ



シロバナタンポポ

### ●3月24日（日） 廣田神社のコバノミツバツツジと早春の草花を見る

夙川駅に集合し、西田公園、大社小学校でイヌノフグリを探しながら歩きます。廣田神社で満開のコバノミツバツツジを鑑賞しながら昼食、その後、境内を歩いて、ザイフリボク、アセビ、シュンラン、シロバナタンポポなどの植物を観察します。その後は新池に寄り、御手洗川沿いに下り、平木中学校の石垣でイヌノフグリを見ます。帰りは阪急西宮北口駅またはJR西宮が便利です。



コバノミツバツツジ

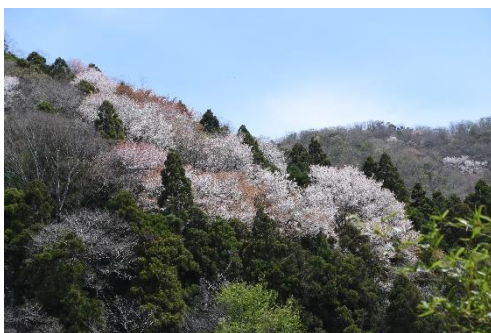


シュンラン



シロバナタンポポ

### ●4月6日（土） 武田尾でヤマザクラや山里の草花を鑑賞する



西宮側から見た桜の演習林

JR武田尾駅に集合し、福知山線廃線跡の2つのトンネルを通り「桜の園」まで歩き、桜の研究者・笹部新太郎の桜の演習林だった場所まで行きます。途中、ヤマブキを見ることができるとを期待しています。ヤマザクラを見た後、戻って廃線跡の入口で昼食。その後、温泉橋を渡って今年の秋に



ヤマブキ

見た西宮側を季節を変えて自然観察したいと思います。武田尾橋からもとのJR武田尾駅にもどります。途中、ヤマブキ、いろいろな種類のスミシ、ミヤマハコベ、ミヤマキケマン、トキワイカリソウなど西宮の山間部の植物を観察しましょう。

● 5月11日（土）猪名川河川敷の帰化植物を観察する 3年間 中止になっている行事

JR伊丹駅に集合し、猪名川の河川敷を川下に歩いて、国指定史跡の「田能（たの）遺跡」までを往復し、外国からやってきた阪神間ではあまり見られない植物トガリバツメクサやヒサウチソウなどを観察したいと思います。草刈りの後でなければ、いろいろな植物に出会えることでしょう。コースは伊丹市の南東の位置で、田能遺跡資料館は尼崎市になります。



ナヨクサフジ



セイヨウヒキヨモギ



トガリバツメクサ



ヒサウチソウ

- ・トガリバツメクサはヨーロッパ南部～西アジア原産のマメ科の帰化植物で 1953 年に三重県で見つかったのが最初。四国、本州三重県・兵庫県・大阪府、北海道まで各地で群落をつくっているようです。
- ・ヒサウチソウは、地中海周辺が原産、ハマウツボ科の半寄生の帰化植物で、日本では 1982 年に名古屋市で見つけられたのが最初。名は植物学者、薬学者の久内清孝氏を記念してつけられました。見られるといいですね。花が黄色い同じ仲間のセイヨウヒキヨモギも見られます。

● 6月16日（日）芦屋市蛇谷林道から東お多福山へ野山の植物を観察する



クモキリソウ

昨年、秋に実施したコースですが、季節を変えて行います。春から夏に移り変わる時期の植物を見ましょう。集合は昨年と同じ東おたふく山登山口バス停です。クモキリソウの花を見ることができるとでしょう。また、ササユリも少なくなりましたが、見つけたいです。クモキリソウは淡緑色の



ササユリ

花の形が蜘蛛に似ているとか、蜘蛛の子を散らすように見えるからとか諸説あるようです。山地の林内に生育するラン科の植物です。

● 7月6日（土）奥池から剣谷湿原へ行き湿原の生物を観察する



ハッチョウトンボ♂



ハッチョウトンボ♀

体長が2cmほどの小さなハッチョウトンボが見られる西宮市の貴重な湿原です。

植物ではサワシロギク、カキラン、コバントンボソウが自生し、ヤマトキソウが少し乾燥したところで見られます。奥池近くでは葉が1枚のヒトツボクロが見られます。歩きやすいコースです。



コバントンボソウ